



静岡県内勤労者の仕事と生活意識調査(第18回)

【1000人を超える静岡県内勤労者から回答】

- 調査時期／2024年11月 ●回答者総数／1216名(男600名、女616名) ●調査方法／インターネット調査
- 静岡県内在住の勤労者約1000人を対象としたWEB調査。2016年5月の初回以来、年2回定期的に実施。
- 2024年11月の今回は第18回目の調査となった。

■性別

男性	女性
600	616
49.3%	50.7%

■年齢

20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上
72	190	349	441	164
5.9%	15.6%	28.7%	36.3%	13.5%

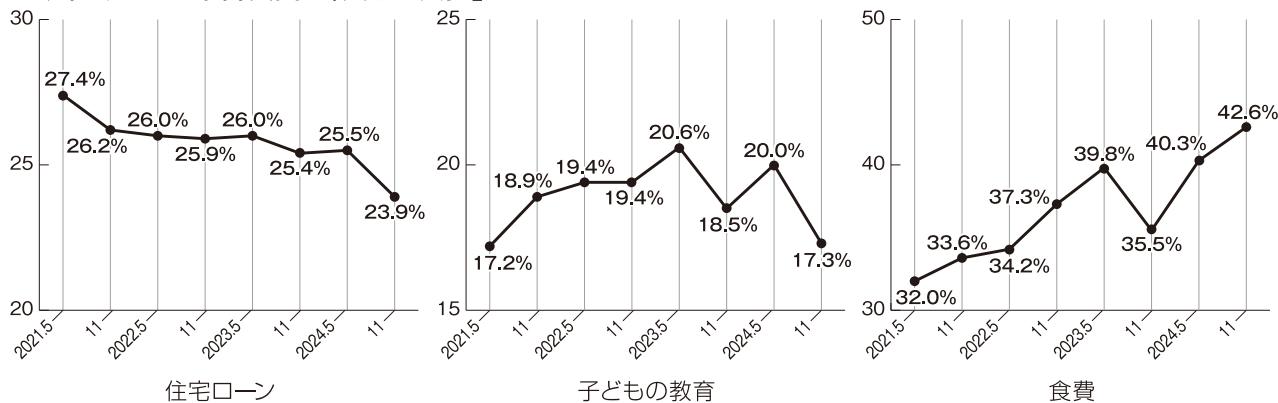
■雇用形態

正規社員	非正規社員
740	476
60.9%	39.1%

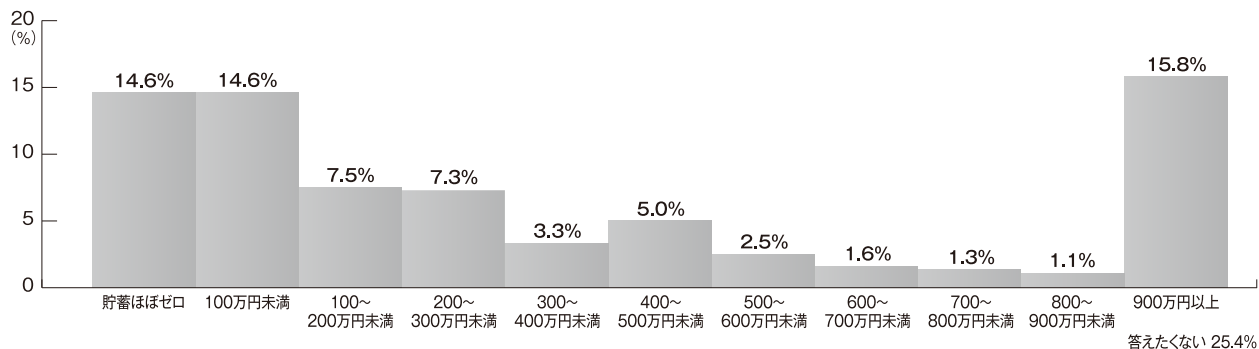
■あなたが現在思う「将来の不安」としてあてはまるもの(複数回答／3つまで)／年代別

	仕事 (自分、配偶者)	子どもの 将来	家族の将来	自分の結婚	住宅	ローン返済 (住宅・奨学金・ その他)	親や配偶者の 介護	老後の生活	健康 (自分、家族等)	その他	特になし	総計
全体	260 21.4%	270 22.2%	170 14.0%	45 3.7%	90 7.4%	192 15.8%	330 27.1%	666 54.8%	541 44.5%	8 0.7%	115 9.5%	2687 221.0%
20歳代	21 29.2%	16 22.2%	17 23.6%	11 15.3%	8 11.1%	16 22.2%	14 19.4%	10 13.9%	19 26.4%	0 0.0%	13 18.1%	145 201.4%
30歳代	48 25.3%	54 28.4%	31 16.3%	15 7.9%	25 13.2%	33 17.4%	40 21.1%	78 41.1%	63 33.2%	2 1.1%	25 13.2%	414 218.2%
40歳代	74 21.2%	105 30.1%	59 16.9%	11 3.2%	26 7.4%	64 18.3%	107 30.7%	180 51.6%	149 42.7%	1 0.3%	28 8.0%	804 230.4%
50歳代	85 19.3%	83 18.8%	52 11.8%	7 1.6%	27 6.1%	68 15.4%	131 29.7%	286 64.9%	206 46.7%	2 0.5%	33 7.5%	980 222.3%
60歳以上	32 19.5%	12 7.3%	11 6.7%	1 0.6%	4 2.4%	11 6.7%	38 23.2%	112 68.3%	104 63.4%	3 1.8%	16 9.8%	344 209.7%

■現在あなたの家計支出で「大きな負担」と感じているもの(複数回答・一部抜粋版)

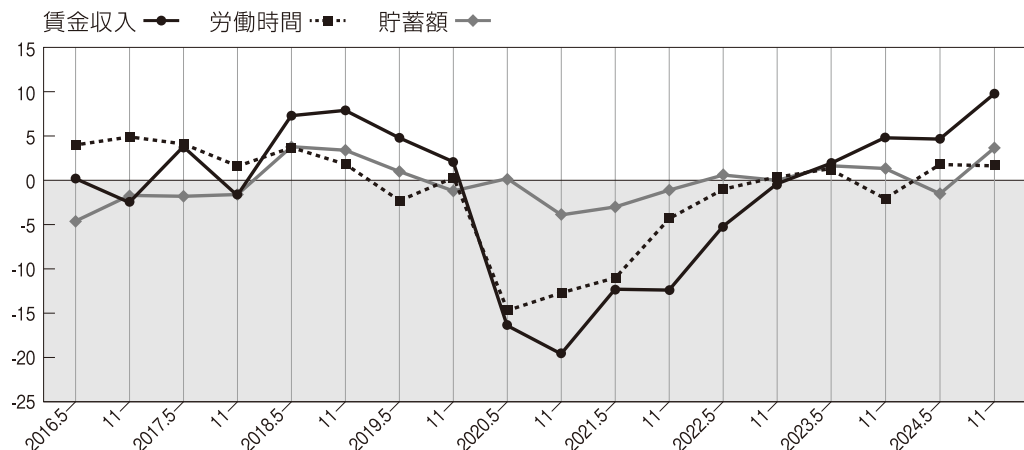


■貯蓄額



■勤労者DI-Diffusion Index 選択比率の差から動向を把握するための指標

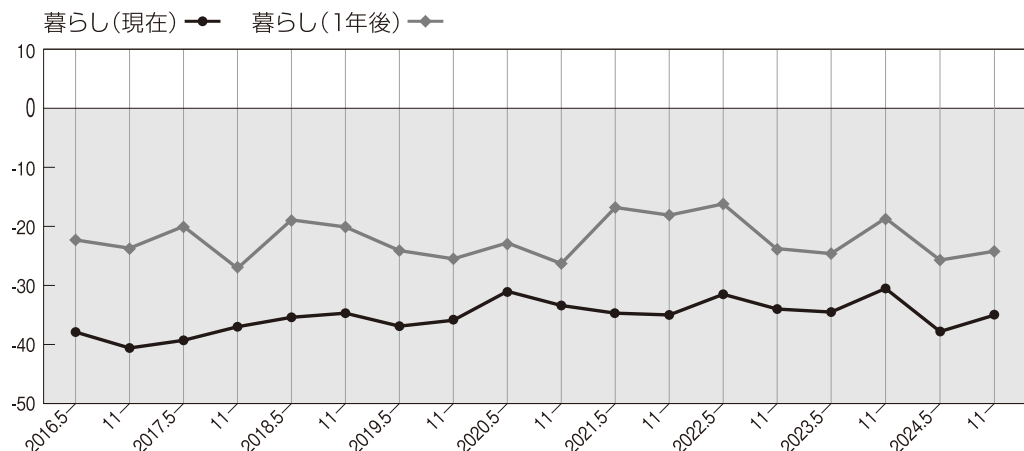
「賃金収入」・「貯蓄額」：1年前と比べて「増えた」・「変わらない」・「減った」
「労働時間」：1年前と比べて「長くなった」・「変わらない」・「短くなった」
「暮らし」(現在)：「余裕がある」・「普通」・「厳しい」
「暮らし」(1年後)：「ゆとりがでる」・「変わらない」・「苦しくなる」・「わからない」



★注目ポイント

前回(2024.5)から 今回(2024.11)DI値の変化

●賃金収入 +4.7→+9.7(+5.0) ●労働時間 +1.8→+1.6(△0.2) ●貯蓄額 △1.5→+3.5(+5.0)



★注目ポイント

前回(2024.5)から 今回(2024.11)DI値の変化

●暮らし(現在) △37.8→△35.0(+2.8) ●暮らし(1年後) △25.7→△24.2(+1.5)

今回調査の注目ポイント

- DI値 賃金収入、貯蓄は増加、「暮らし」は「現在」「1年後」ともにやや改善
DI値の推移をみると、賃金収入は前回調査(2024年5月)と比べ増加(+5.0)、貯蓄額も+5.0と増加した。2024年10月から最低賃金が引き上げられた影響もあると考えられる。「暮らし」(現在)は前回調査(2024年5月)から+2.8、「暮らし」(1年後)は+1.5とやや改善した。
- 家計支出における「食費」の負担感がさらに高まる
「現在、あなたの家計支出で「大きな負担」と感じているもの」についての質問で、「食費」と回答する割合が前回調査で40.3%となり初めて40%を超えたが、今回はさらに増加して42.6%となり、過去最高となった。1年前の調査からは7.1ポイント上昇している。2022年来的食料品価格の値上げの影響が長期化していると考えられる。
- 現在思う「将来の不安」～「老後の生活」が54.8%で最多
あなたが現在思う「将来の不安」については「老後の生活」が54.8%で最多、次いで「自分や家族の健康」が44.5%で続く。年代別にみると「老後の生活」は20歳代では13.9%だが、30歳代で41.1%となり、以後50歳代の64.9%まで、年代が上がるごとに10ポイント以上高くなる。60歳代は68.3%となった。「自分や家族の健康」も年代が高くなるほど高く、60歳代では63.4%となった。「子どもの将来」は40歳代が30.1%で最多、「家族の将来」は20歳代が23.6%で最多であった。